

井林 いたやし
たつのり

-通信 第七十二号-

井林たつのり事務所

〒426-0037

藤枝市青木3-13-8

TEL 054-639-5801

FAX 054-639-5802

Mail office@t-ibayashi.com

HP http://t-ibayashi.com

井林たつのり国会事務所

〒100-8981

東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館919号

TEL 03-3508-7127

FAX 03-3508-3427

豪雨を
予測せよ

豪雨を

衆議院議員 井林たつのり

生年月日 昭和51年7月18日

住 所 藤枝市本町

本 籍 榛原郡川根本町(お茶農家)

【経歴】京都大学工学部卒業、同大学院環境工学修了

平成14年より国土交通省勤務、平成22年6月退官

平成24年12月初当選(五期目)

平成28年8月環境・内閣府大臣政務官

令和3年11月自民党 財務金融部会長

令和5年 9月内閣府副大臣

令和6年11月衆議院財務金融委員長

所有者不明土地問題等に関する特別委員長

静岡県サッカー協会中西部支部 会長

【家族】妻・長女・次女

【趣味】野球、水泳【好物】焼魚、白米、お茶

ポスター掲示を
お願いします。

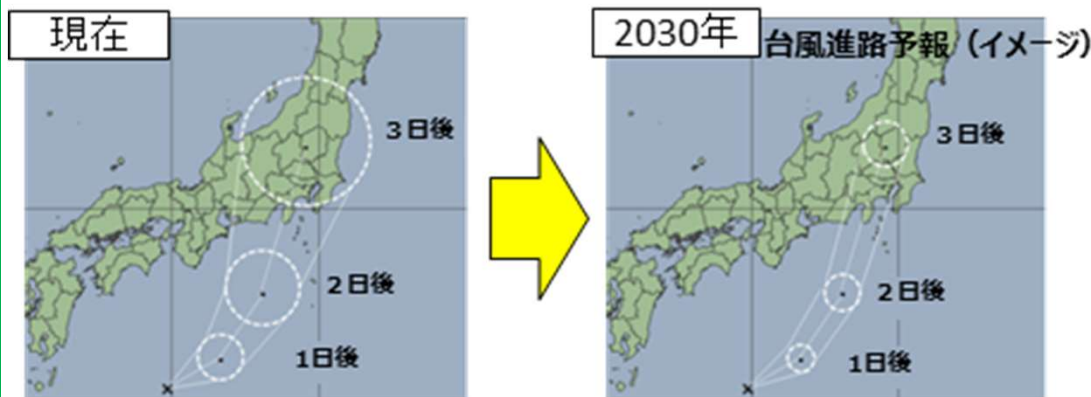


公式LINE開始!
登録をお願いします!



台風進路予報も高精度に!

台風進路のニュースを見て「どこに来るの?」と思いませんか? 台風の進路円は7割の確率で到達する可能性のあるエリアを示しています。気象予報の精度を上げ、5年後の2030年には進路予報誤差を約100km(現状は約200km)に改善を目指しています。



“井林たつのり”のスマイルメッセージ

第1・第3・第5<水曜日>FM島田(76.5MHz)

放送; 8:10~ 再放送; 18:35~

サマーラジオ、YouTube、ポッドキャストでも

ご支援をお願い申し上げます

~自民党入党のお願い~

派閥が解散したので、今後の人事は、集めた党員の数で評価されポストが与えられることになりました。自民党だけでなく「井林たつのり」の政策実現に、お力を与えてください。党費は年4,000円(家族党員2,000円)です。下記FAX頂くか、電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。

FAX 054-639-5802

お名前 _____

※入党は個人名のみとなります。

住所 〒 _____

TEL/FAX _____ 生年月日 _____



大臣経験者が通例の
自民党特別委員会委員長に!

豪雨を予測せよ

【線状降水帯のメカニズム】

線状降水帯の発生メカニズム

「線状降水帯の発生」という緊急ニュースをよく聞きますよね。線状降水帯は、次々と発生した積乱雲により、線状の降水域が数時間（3時間に150mm以上）にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすもの。

線状降水帯の発生・停滞・持続等のメカニズムは未解明な点が多くさらなる観測・研究が必要。特に、

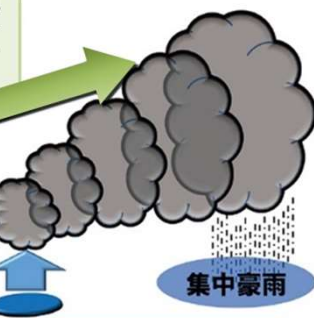
- ①水蒸気の流入を正確にとらえる（特に海上）
- ②数値予測モデルの向上（積乱雲の発生予測が困難）が求められています。

観測・予測技術の強化

④上空の強い風により積乱雲が風下に移動して一列に並ぶ

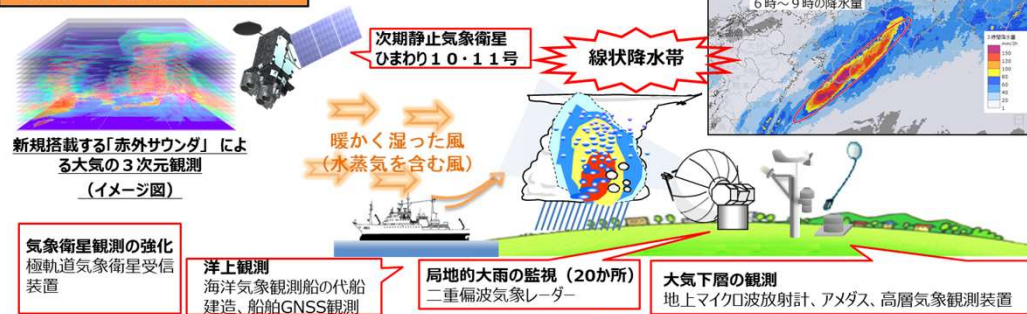
③大気の状態が不安定な中で積乱雲が発達

①およそ高度1km以下の低層に暖かく湿った空気の流入が持続



②前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生

<観測> 水蒸気観測等の強化



水蒸気量等の観測データ

<予測> 強化した気象庁スーパーコンピュータや「富岳」を活用した予測技術の開発等



災害の危険性が高い、線状降水帯の観測・予測技術強化の為に

- ①ひまわり10・11号（現状は8・9号）の打ち上げ
- ②20か所の二重偏波気象レーダーによる監視
- ③海洋気象観測船運用や、民間船舶の協力による観測
- ④気象庁スーパーコンピュータシステムの整備
- ⑤富岳を用いた予測技術開発等の充実や、スピードアップを行ってまいります。

線状降水帯情報提供の改善を！ ～これまでも、これからも～

このような技術開発の結果として迫りくる危険の情報を「より早く、より正確に」提供できるよう

- ・令和8年から、2～3時間前を目標にした予測情報を提供予定
 - ・令和11年から、半日前に市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を提供予定
- 国民の生命と財産を豪雨災害から守っていきます！！

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

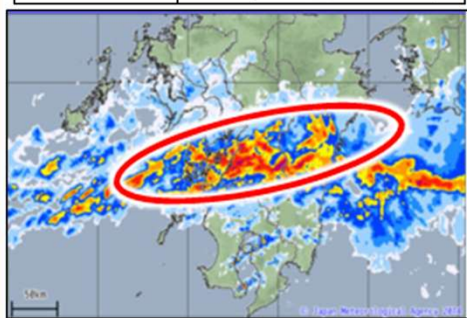
発生情報

令和3年

線状降水帯の発生を
お知らせする情報

令和5年

最大30分程度前倒し

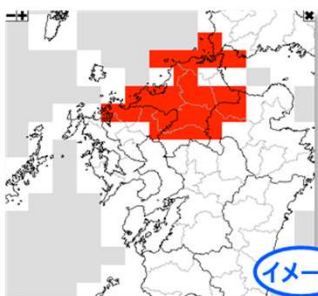


線状降水帯の雨域を楕円で表示

2～3時間前予測

令和8年

2～3時間前を目標に
予測情報を発表



イメージ

補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を図情報で表示（予定）

半日前予測

令和4年

地方単位で予測

令和6年

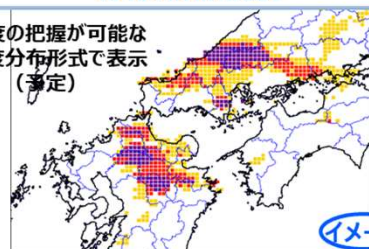
府県単位で予測

さらに対象地域を狭める

令和11年

市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供

危険度の把握が可能な危険度分布形式で表示（予定）



イメージ